

平成28年度 第1期

新収蔵作品を中心にI

清川泰次 地中海、アジアの旅から

静岡県浜松市に生まれ、学生時代に油絵を始めた画家・清川泰次(1919-2000)。戦後に二科展や読売アンデパンダン展などで活動した後、1950年代と60年代に二度の渡米を経験し、晩年まで、ものを写すことにとらわれない独自の芸術を探求し続けた。

清川泰次記念ギャラリーでは、「新収蔵作品を中心に」と題し、平成28年度に開催した3つの展覧会において、近年、新たに収蔵された清川の作品を年代順に紹介した。

その第1期である本展では、清川が1950年代に旅行で訪れた地中海、アジアの風景にインスピレーションを得て描かれた作品を展示した。

1951年、32歳の清川は、「本当の絵画とは何か? 本当の油絵とは何か?」を探求すべくアメリカへ渡り、在米中に、それまで描いていた具象表現から抽象表現へと移行した。そして、3年間の滞在を終えた1954年、ギリシャをはじめとしたヨーロッパ諸国、エジプト、インド、ミャンマー、タイなどを旅行し、帰国後、この旅で訪れた地を数々の作品に描いた。古代遺跡や街の風景を抽象的に再構成したこれらの作品は、清川がアメリカの地で新たに得た芸術観とスタイルで、目にした風景を表現した作品群と言えるだろう。

また、本展では、絵画作品に加え、清川が旅行中に撮影した写真も展示した。当時としては珍しいカラーフィルムで撮

会期:2016年4月2日(土)ー7月24日(日)

入場者数:839人

担当者:樋口茉莉奈

影された写真の数々は、当時の外国の風景を、色鮮やかに伝えてくれるものである。これらの写真と絵画を併せて展示することで、清川が、外国の地で目にした風景を、どのように絵画に描いたかを考察する機会となった。

出品目録

清川泰次

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	逆ピラミッド	1954	カンヴァス、油彩
2	白い風景-54	1954	カンヴァス、油彩
3	エジプト-55	1955	カンヴァス、油彩
4	メディタレーニアン風景 55-6	1955-56	カンヴァス、油彩
5	港 55-6	1955-56	カンヴァス、油彩
6	海の見える街-56	1956	カンヴァス、油彩
7	海の見える街	1956	カンヴァス、油彩
8	谷間の街(黒とグリーン)	1956	カンヴァス、油彩
9	白の中の鉛筆の風景	1956	カンヴァス、油彩、鉛筆
10	マンダレー	1956	カンヴァス、油彩
11	レークサイド-56	1956	カンヴァス、油彩
12	アテネ-56	1956	カンヴァス、油彩
13	丘の街-56	1956	カンヴァス、油彩
14	Quietude	1956	カンヴァス、油彩
15	20号の白の風景-56	1956	カンヴァス、油彩
16	パールグリーン風景-57	1956-57	カンヴァス、油彩
17	イタリーの空	1962	カンヴァス、油彩

参考資料

カラー写真7点(エジプト・ギリシャ・イタリアにて撮影) 1954年 撮影者:清川泰次

『僕のアルバムNo.78「ヨーロッパ旅行」』1954年

『アルバムNo.79「ヨーロッパ・アジア各地帰国」』1954年

世界民俗カード『小学六年生』9月号(1958年 小学館発行)付録

<小展示室>

No.	作品名	制作年	材質・技法
18	リングとパイプ	1946	板、油彩(合板などを含む)
19	(横顔)	1948	板、油彩(合板などを含む)
21	(静物・みかん)	1950頃	板、油彩(合板などを含む)
22	(横臥)	1950頃	板、油彩(合板などを含む)
20	(4人)	1950頃	板、油彩(合板などを含む)

*()は作品名不詳につき仮題

参考資料

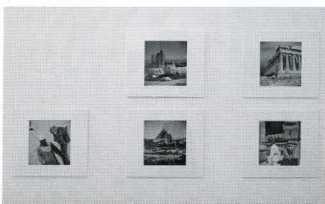
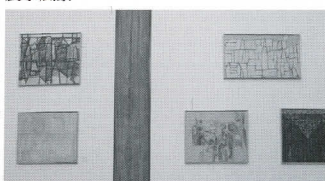
カラー写真4点(ミャンマー・インドにて撮影) 1954年 撮影者:清川泰次

カラー写真は、オリジナルフィルムをデジタル化し、プリントした。



B3ポスター
A4チラシ

展示風景



平成28年度 第2期

新収蔵作品を中心にⅡ

清川泰次 線と色の交錯

第1期に続く、「新収蔵作品を中心に」の第2期となる本展では、清川泰次が、1950年代中頃から60年代初頭にかけて描いた作品を展示した。

具象表現から出発した清川は、1951年から約3年間アメリカで作品の制作と発表を行い、本格的に抽象表現へと移行した。1959年に出版した画集『絵と言葉』(美術出版社)の中で、清川は自分の作品について「写す」という全てのソクバクから解放されて作られた絵」とであると書いている。この言葉通り、アメリカから帰国後、清川は、次第に具象的な形を描かなくなり、複雑に交錯する線と色面のみで画面を構成するようになった。本展では、この時期の油彩画11点を展示し、渡米を終えた清川が新たなスタイルを模索していた頃に描いた、実験的な作品の数々を紹介した。

会期中には担当学芸員によるギャラリートークを開催し、清川の多様な線の使い方など、技法について解説するとともに、当時の清川が、自身の考える芸術の在り方について綴った言葉も紹介した。

会期:2016年8月6日(土)ー12月4日(日)

入場者数:749人

担当者:樋口茉呂奈

出品目録

清川泰次

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	冬山	1956-57	カンヴァス、油彩
2	黒い線	1957	カンヴァス、油彩
3	題の無い絵	1959	カンヴァス、油彩
4	Leaving Her Nest (巣立ち)	1959	カンヴァス、油彩
5	水色の絵-59	1959	カンヴァス、油彩
6	日没-59	1959	カンヴァス、油彩
7	Painting No.12P-62	1960-62	カンヴァス、油彩、鉛筆
8	赤い四角沢山-62	1961-62	カンヴァス、油彩
9	黄色の中に黒い四角-63	1962-63	カンヴァス、油彩
10	Painting No.662-3 黒い雨	1963	カンヴァス、油彩

〈小展示室〉

No.	作品名	制作年	材質・技法
11	群像表紙	1962	カンヴァス、油彩

参考資料

『群像』1962年3月号、講談社刊

『群像』1962年5月特大号、講談社刊

『群像』1962年7月号、講談社刊

『群像』1962年9月号、講談社刊

『群像』1962年10月特別号、講談社刊

関連企画

10月8日(土) 16:00- (約20分)

3分館リレーギャラリートーク

講師:樋口茉呂奈(当館学芸員)

参加者数:7人

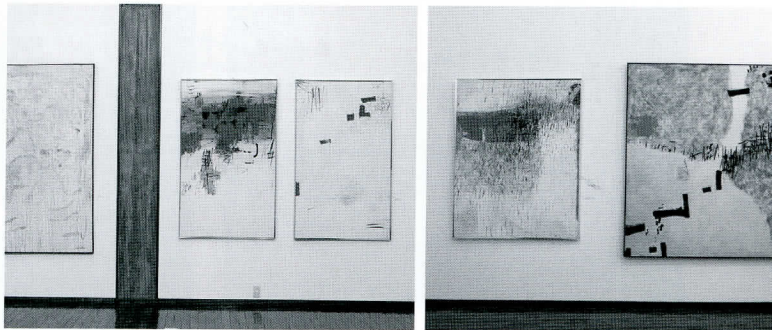


B3ポスター



A4チラシ

展示風景



平成28年度 第3期

新収蔵作品を中心にⅢ

清川泰次 シンプルな世界へ

会期:2016年12月17日(土)
—2017年3月20日(月・祝)
入場者数:411人
担当者:樋口菜呂奈

具象的な作風から出発した清川泰次は、戦後間もない1950年代に一度目の渡米を果たし、当時盛んであった抽象表現主義をはじめ、自由で新鮮な表現との出会いを経て、本格的に抽象表現へと移行した。

1963年、清川は、もう一度アメリカで制作と発表の機会を得ようと、再び渡米し、サンフランシスコとニューヨークで個展を開催するとともに、グループ展にも参加した。この頃から清川は、白く塗ったカンヴァスに、黒やグレーで線を引いた作品を多く描くようになる。1966年に帰国後も、白を基調としたスタイルでの制作を続け、1973年には「白の世界」と題した個展を開催した。後に「白の中には無限の色がある」と語っている清川にとって、白色は重要な色彩のひとつとなり、その後の仕事に大きく影響を与えることとなった。

近年、新たに収蔵した作品を3期に分けてご紹介する「新収蔵作品を中心に」の最終期である本展では、1960年代から80年代頃までの油彩画を展示し、在米中の作品をはじめ、シンプルな表現世界へと展開していく清川泰次の歩みを紹介した。

会期中、担当学芸員によるギャラリートークを開催し、2度の渡米を経て変化する清川の画風について解説を行った。

出品目録

清川泰次

〈大展示室〉

No.	作品名	制作年	技法・材質
1	Painting No.SF364	1964	カンヴァス、油彩
2	Painting No.SF1564	1964	カンヴァス、油彩
3	Painting No.SF765	1965	カンヴァス、油彩
4	Painting No.NY1566	1966	カンヴァス、油彩
5	Painting No.NY1966	1966	カンヴァス、油彩
6	Painting No.NY2366	1966	カンヴァス、油彩
7	紫のある風景	1970頃	カンヴァス、油彩
8	Painting No.68-73	1973	カンヴァス、アクリル
9	Painting No.57980	1980	カンヴァス、アクリル
10	Painting No.87980	1980	カンヴァス、アクリル
11	Painting No.317980	1980	カンヴァス、アクリル
12	Painting No.347980	1980	カンヴァス、アクリル

〈小展示室〉

No.	作品名	制作年	技法・材質
13	不詳	1970年代前半	カンヴァス、油彩、鉛筆
14	不詳	1970年代前半	カンヴァス、油彩
15	白の中に白い点々	1977	カンヴァス、油彩

資料:

サンフランシスコ・アート・センターでの個展案内状、1964年
ニューヨーク、トゥエンティース・センチュリー・ウェスト画廊でのグループ展案内状、1964年
ニューヨーク、トゥエンティース・センチュリー・ウェスト画廊での個展案内状、1965年
ニューヨーク、トゥエンティース・センチュリー・ウェスト画廊での個展案内状、1966年

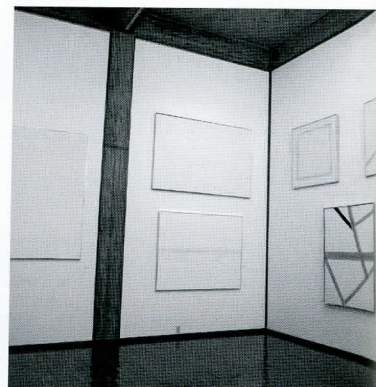
展示風景



B3ポスター



A4チラシ



関連企画

12月17日(土) 14:00- (約20分)
3分館リレーギャラリートーク
講師: 樋口菜呂奈(当館学芸員)
参加者数: 2人

